

## 1 はじめに

本校は、流通マネジメント科2クラス、情報システム科2クラス、OA会計科1クラスを有する商業の専門高校である。卒業後、ビジネス界で活躍する生徒、大学等で専門的に学ぶ力を発揮する生徒の育成を目指している。特に、「規律」「教養」「資格取得」「部活動」の4つの分野に重点的に取り組み、「働き続ける力」「学び続ける力」が身に付くように指導し、企業・大学・地域社会などの多くの人々から信頼される学校を目標としている。今年度から流通マネジメント科が1学級減となり、令和5年度には南部地区職業教育拠点校への再編統合が予定されている。

今回の事例は地域を知り、災害から自らの命を守り、地域社会へ貢献する能力と態度の育成を目指した取り組みと、SDGsの達成のために社会の一員として自分ができることを主体的に考え、行動をおこすきっかけとする探究学習について紹介する。

## 2 実践事例

### (1) 実践事例Ⅰ 『防災教育』

本校は例年、「地域を知る」を目的に全校生徒での地域の清掃活動を実施している。しかし新型コロナウイルス感染防止の観点から昨年度に引き続き中止となった。この目的の達成および防災教育を兼ねた取り組みとして、大河原町の防災マップおよびハザードマップから地域の防災について検証することを実施した。

1. 実施日 1学年：9月8日 2学年：4月28日 3学年：11月17日
2. 内容 (i) 高校3年間通う大河原町の基本データから町の歴史や特徴を考える。  
(ii) 大河原町のハザードマップを読み取る。
  - ・危険な箇所を確認（色の違いをみて危険箇所を確認する）
  - ・洪水の氾濫，河川氾濫により倒壊の恐れの確認
  - ・想定される浸水の高さから危険な箇所と対策を考える。(iii) 大河原商業の周辺にはどのような危険が潜んでいるか考える。  
(iv) 水平避難と垂直避難の言葉の意味を考える。  
(v) 避難所の確認とAEDの設置場所を確認。  
(vi) 防災マップから大河原町の指定避難所の場所，AED設置場所を確認。  
(vii) 災害時に私ができることを考える。

今回の取り組みをとおして、自治体が発行する防災マップやハザードマップを見たことがある生徒が少数であることが分かった。全員で大河原の歴史や地形について調べ、ハザードマップを読み取ることで、その地域の防災が意味することを理解することができた。今回の学習を活かし、自分が住む市町村の防災マップやハザードマップを活かし防災に取り組めるようにしていきたい。なお、今年度実施した防災教育の内容は次のとおりである。

- ・地域を知る「ハザードマップの作成」
- ・避難計画「マイタイムラインの作成」
- ・防災避難訓練「地震対応」
- ・防災避難訓練「火災対応」
- ・防災講話「天気の一般的な知識」仙台管区气象台
- ・情報収集「災害から命を守る情報収集」
- ・救急対応「AEDの使用について」
- ・東日本大震災からの復興「安全なまちづくりの貢献」
- ・災害検証「過去の災害を振り返る」

## (2) 実践事例Ⅱ 『 課題研究（探究活動） 』

3学年で履修する「課題研究」において、今年度より探究学習を取り入れた。SDGsを題材に『 私がつくる持続可能な世界への挑戦 』を大テーマに掲げ、目標達成のために社会の一員として自分ができることを主体的に考え、行動をおこすきっかけとすることを目的としている。

第Ⅱ期（10月～翌年1月）で2単位の実施だが、全員が個人ごとにテーマを設定し、インターネットからの情報収集のほか、SNSを活用したアンケート調査や現地での実態調査など実施した。年度末には、他者の価値観や個性を理解するとともに自己理解を深めることを目的に全員が発表し、探究した内容を紹介しあえることができた。

以下は個人テーマの一例である。



発表会場（会議室）からの各教室への配信形式での発表

SDGs 目標	探究個人テーマ
貧困をなくそう	フェアトレードを世界中で実現させるには
人や国の不平等をなくそう	人や国の不平等をなくすには今何が必要なのか
住み続けられるまちづくりを	孤独死から考える住みやすい街作り ～地域のコミュニティを育てるために～
つくる責任つかう責任	家庭の食品ロスをゼロにするため今日から始める取り組み！
気候変動に具体的な対策を	温室効果ガス削減のための対策法 ～気候変動について知り私生活を見直そう～
海の豊かさを守ろう	プラスチックを削減して海にどんな効果があるのかプラスチックゴミと海の生き物たちへの影響
陸の豊かさも守ろう	森林と自然を守るためにできること
ジェンダー平等を実現しよう	どんな性別でも平等に生きていける社会をつくるために ～LGBTQの現状と課題～
産業と技術革新の基盤をつくろう	ICTを利用する人たちの情報格差をどう解消するか ～サステナブルツーリズムを推進するためには～
すべての人に健康と福祉を	睡眠と健康の関係性について ～日本人の幸福度を上げるには～

## 3 おわりに

本校は、「大商ブランド」を掲げ、基本的な生活習慣や各種マナーの育成、基礎学力と知性、職業に関する専門的知識・技能、並びに、体力・気力・社会性を高め、「働き続ける力」「学び続ける力」を身に付けさせている。

今後も様々な教育活動を通して、積極性・協調性・責任感・忍耐力等を養い、地域社会で果たすべき自己の役割をしっかりと考えさせ、社会人としてのよりよい生き方を求めていく心構えを涵養していきたい。